

## 目標達成計画

作成日: 平成30年8月29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員を育てる取り組みに対し、施設外での研修や勉強会等への参加率が低い	職員ひとりひとりがサービスの質の向上のため、外部研修や勉強会に積極的に参加するようになる	事業所は職員のキャリア等に適した研修等を個別に勧め、休日を利用しなくても良いようシフトを組み、職員皆が平等に外部研修や勉強会に参加できるよう支援する	8ヶ月
2	35	今年の異常気象から、いつ災害が起きても大事に至らない様、防災対策について危機感を持ち意識を高める	災害時、職員ひとりひとりが冷静かつ速やかに避難指示、誘導ができるようになる	防火避難訓練、水害避難訓練を繰り返し行なうことにより、職員ひとりひとりがパニックに陥ることなく落ち着いて避難、誘導ができるようにする	8ヶ月
3	7	昨年、虐待(心理的)認定を受けた事例から集中的に虐待研修を行ってきたが、今後も再発防止のための研修その他の取り組みを継続する	職員は、高齢者虐待防止関連法等について学ぶ機会を持ち、管理者は、職員のメンタルヘルスに対するサポートをし、虐待が生じることのない職場環境を築く	管理者は、再度、メンタルヘルスを学ぶ機会を持ち、職員に反映させる。職員は引き続き、研修等にて虐待に関する正しい理解を深め、意識を高める	8ヶ月
4	42	口腔内の清潔保持に対し、認知症の進行により、磨きが不十分であったり、歯磨きの一連の行為ができない方や、うがいができない方も増えつつある	自己にて歯磨きができない方に代わり、職員ひとりひとりが適切な口腔ケアを行なえる技術を身に付ける	月に一度、歯科往診後、歯科医師、歯科衛生士の指導を受け、職員ひとりひとりが口腔ケアの技術を身に付ける	12ヶ月
5	3	事業所の力を活かした地域貢献が十分にできているとは言えない	管理者が率先して認知症カフェなどを通し、地域の方々と接し、これからも地域で安心して暮らしていける社会資源の一つになる	認知症カフェの運営の他、北区認知症カフェ検討会委員会、出張認知症カフェへの参加により、今後も地域交流、社会貢献に努める	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。